

## 水稻種子の浸種及び浸種後乾燥期間別の発芽率 －震災復興関連技術－

古川農業試験場

### 1 取り上げた理由

水稻種子の浸種開始後、突発的な事象により播種時期の予定が立たない場合がある。その時の種子の扱いについて、浸種を一時中止し、乾燥させた場合の発芽率について明らかとなったので普及情報とする。

### 2 普及情報

- 1) 「ひとめぼれ」水稻種子において、浸種期間の平均水温が8℃以下であれば、表1の浸種期間、積算水温、その後の乾燥期間及び積算気温の範囲において約95%以上の発芽率を確保できる。

表1 浸種及び乾燥期間別の発芽率

浸種終了日	3/23浸種スタート	乾燥後 日数(日)	積算 気温(℃)	乾燥後 日数(日)	積算 気温(℃)	乾燥後 日数(日)	積算 気温(℃)	乾燥後 日数(日)	積算 気温(℃)	乾燥後 日数(日)	積算 気温(℃)
① 3/30	浸種期間(日) 7 平均水温(℃) 6.4	2	23(11.5)	9	124(13.8)	16	226(14.1)	23	331(14.4)	29	433(14.9)
		94.7%		96.0%		96.7%		98.0%		96.7%	
② 4/6	浸種期間(日) 14 平均水温(℃) 6.1	2	28(14.0)	9	130(14.4)	16	235(14.7)	22	337(15.3)		
		99.3%		98.7%		96.0%		96.0%			
③ 4/13	浸種期間(日) 21 平均水温(℃) 7.2	2	31(15.5)	9	136(15.1)	15	238(15.9)				
		98.7%		99.3%		97.3%					
④ 4/20	浸種期間(日) 28 平均水温(℃) 8.1	2	30(15.0)	8	132(16.5)						
		99.3%		95.3%							

※( )は平均気温

### 3 利活用の留意点

- 1) 浸種期間中は、1日おき程度で水の交換を行う。
- 2) 浸種中断後の籾は、脱水機により脱水し、ゴザ等に広げ2日間程度陰干しする。その後網袋に入れ、風通しの良い日陰で保存する。
- 3) 芽が動き始めた籾は乾燥後の発芽率が低下し、特に芽の長さが1mm以上になるとかなり低下する(後藤ら 1996 乾燥催芽籾の再生長について 日作東北支部報 39)。
- 4) 再浸種後は芽が動きやすくなっているので、籾の状況を見ながら浸種期間を調整する。

(問い合わせ先：古川農業試験場水田利用部 電話0229-26-5106)

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

農業の早期復興に向けた試験研究機関連携プロジェクト

津波被災水田の実態調査と除塩法・栽培管理技術の確立（平成23年）

##### 2) 参考データ

供試品種：ひとめぼれ 発芽率調査：25℃ 明所 14日間 50粒×3反復

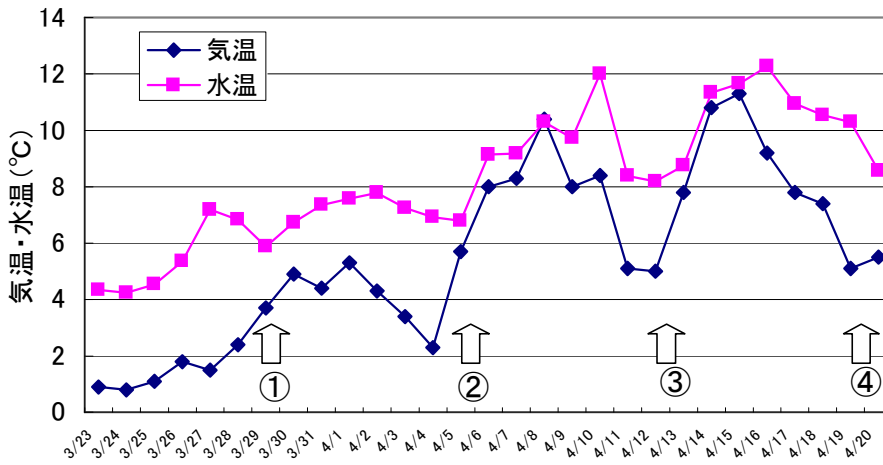


図1 浸種期間における気温・水温  
(気温：古川アメダス) ※図中の矢印は浸種終了日

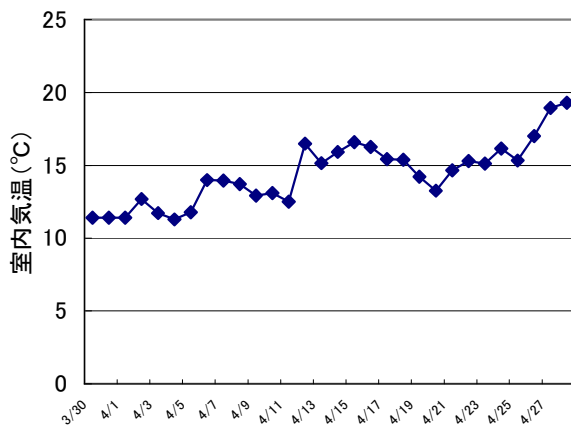


図2 乾燥後の室内気温の推移

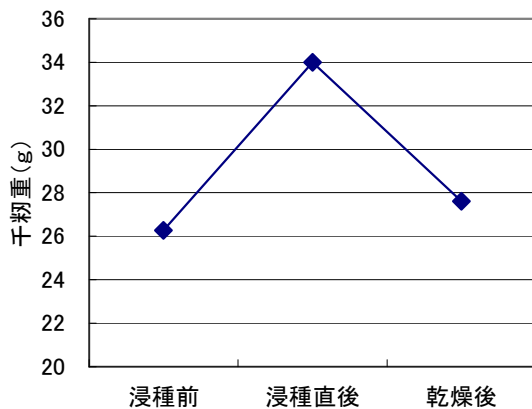


図3 千粒重の推移

##### 3) 発表論文等 なし